

【取材メモ：11月10日（土）】

(1) かなっば畑の会とは？

- ・かなっば畑の会は、神奈川区生涯学級「畑で楽しむやさいの時間」の修了生が中心と名  
って、2014年から活動を始め、2015年2月に発足した11名の運営委員で立ち  
上げた農業愛好者の会。
- ・あらく農園でお手伝いから始めたが、意見はバラバラ（技術習得、やりたいこと）。
- ・自由な活動ができないものかと横浜北農協に相談しmkファームを紹介された。
  - あらく農園では言われた事だけのお手伝い
  - 例えば、除草ばかりで好きな野菜がつかれない（あらく農園は除草剤を使わないの  
ですぐ雑草が生えて大変）
  - もっと自由に野菜をつくりたい
- ・農家以外の者は自由に農地で栽培できない（資格が必要）。特区申請すれば一般人でも耕  
作は可能。
- ・6年間「やさい作り講座」をやっている
- ・mkファームから10区画を40万円／年で貸借している（かなっばの畑）。
  - かながわ地域支援補助金で3年間は賄えた
  - 来年度からは補助金事業は終了なので新たな品目で申請可能か検討中
  - 例えば、若年性認知症支援事業
- ・かなっばの畑で耕作を行う農機具、苗、肥料は自前。三ツ沢公園馬術練習場の馬糞を肥  
料に使っている。
- ・mkファームの畑を手伝う場合は、農機具、苗、肥料は農家持ち。
- ・作業は土曜日と月曜日の9～12時。夏などは様子確認、散水のためにそれ以外の日も  
作業する方もいる。
- ・メンバーは55名。だいたい50歳以上、男性は定年後、6割が女性。
  - 会長の山田さんもサラリーマン
  - メンバーはほとんどが未経験者。

→個人で区画を借りて家庭菜園を行っている方もいる

- ・積極的なメンバー拡大をしなくとも自然増運営が良いと考えている。
- ・毎年行っている「やさい作り講座」受講生の約半数（10名程度）が新規加入する。

→「やさい作り講座」とは7月～11月（6回）に行われる（HPより）

- ・参加は自由。2000円の初期費用と1000円の年会費。
- ・新しい試みとして竹林整備を行いタケノコ販売も検討中。

## （2）家庭菜園との違い

- ・家庭菜園の野菜作りは毎日の作業が必要。
- ・かなっば畑の会では作業・管理が分担できるので時間を有効に使える（週1日程度）。
- ・技術的にはセミプロ。

→横浜の農家はキャベツ（全国8位）、ジャガイモ、ブロッコリーを主に栽培

→それ以外の野菜栽培の経験を有する

- ・担当を決め自由に栽培

## （3）地元野菜の販売：地産地消

- ・8つの農家から野菜仕入
- ・今年度は14回の販売を行った。明日（11月11日）は六角橋中学校

## （4）運営

- ・活動日報あり
- ・連絡はメーリングリスト
- ・月1回の定例会
- ・年3回のバーベキュー
- ・毎回15名位が集合し作業（忘年会は全員集まる）。